

ショーレジン STE-500
各種配管廻りコーキング工事

施 工 要 領 書

ショーレジン 株式会社

施工要領

I. 準備

材料を混練するための保護具を用意する。エポキシ樹脂は素手で触れるとかぶれることがあるのでゴム手袋等の保護手袋を用意する。また手を湿らせるための小バケツ等を用意する。

II. 管廻り下地処理

コーキング材の接着を阻害する恐れのある油分・塗料・錆びモルタル屑等有る場合は、これを除去して表面を露出させて下さい。

被覆管の場合・・・被覆を除去して下さい。(エポキシ系の塗膜で十分な接着力がある場合は塗膜表面を目荒らしし、溶剤等で清掃を行う。)

塩ビ管の場合・・・接着面の十分な目荒らしを必要とし、溶剤または、水洗い等により清掃して下さい。

III. 材料の取り出し

ゴム手袋を着用し、使用するだけの材料を箱から取り出す。このとき主剤及び硬化剤の比率が1：1になるように量り等を用いる。

(注) 比率が1：1でないと、未硬化の原因になります。

※ 充填量の算出：容量 (ℓ) × 1.55 (比重) × ロス = 使用量 (kg)

通常ロス は 20% で算出。幅・奥行き共に 20mm 以上。 (図-1 参照)

IV. 混練

取り出した主剤 (黒) 及び 硬化剤 (白) を混ぜ合わせる。このとき混ぜ合わせた材料の色が薄灰色 (ライトグレー) になるまで良く混ぜ合わせる。

(注) 均一に混練されていないと、未硬化の原因になります。

V. 充填作業

ゴム手袋を着用し、充填箇所へ空気が入らないよう押しつけるように充填して下さい。

(図-1 参照)

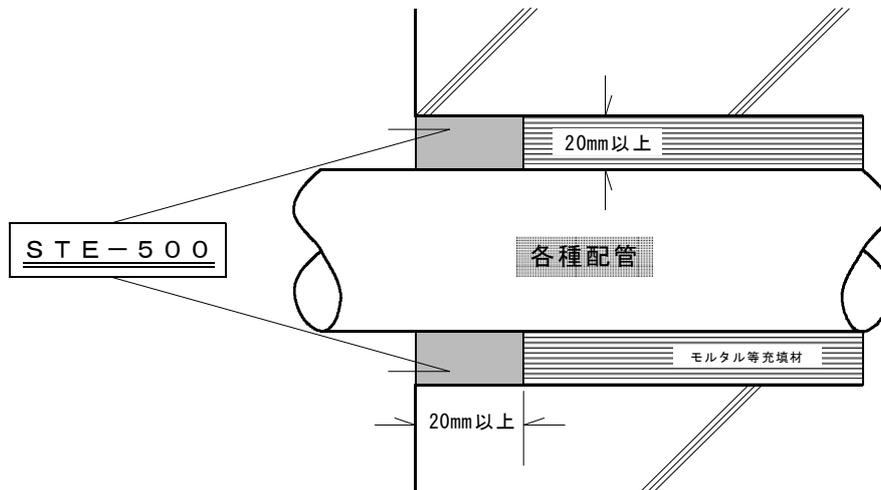


図-1 施工断面図

※外装等支障がない場合は 図-2 のように施工すると止水性が向上します。

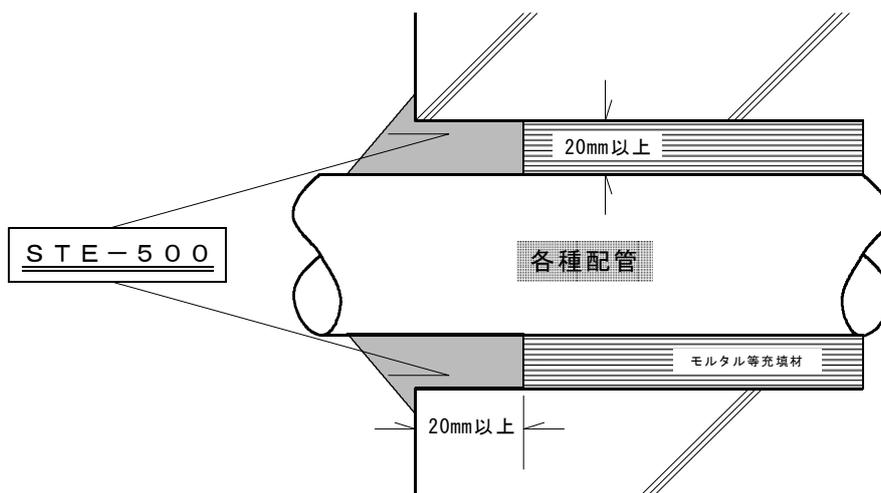


図-2 施工断面図